

令和2年度 第1回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 令和2年8月24日（月曜日） 18時30分から19時15分
- 2 場 所 庁舎1階ホール（大）
- 3 出席者 （委員）
石川かず子、石川淳、井上祐輔、小松揚明、小山裕紀子、田中幸男、
中沢清、豆田和子
（事務局）
岡田弘喜（地域課長）、栗原康弘（地域課地域係長）、
宇尾野嘉男（地域課地域係主任）
- 4 議 題 1 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会について
2 その他
- 5 配布資料 1 次第
2 令和元年度 第6回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会議事録
- 6 開 会 前 4月1日付け人事異動により地域係前任者、堂垣主任挨拶
- 7 開 会 岡田地域課長挨拶
4月1日付け人事異動により地域係担当者、宇尾野主任挨拶
- 8 議 題 1 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会について

（事務局）

配布資料の確認。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の委員会が開催できなかった。

このような状況下だが皆様の近況報告も踏まえ、お集まりいただき、協働の進め方について話し合いたい。

配付した昨年度（第6回）の委員会の議事録にあるとおり、中止となってしまった協働フォーラム2020の発表資料について、時機を見て町ホームページに掲載したい。

（委員長）

新型コロナウイルスの影響でこのような状況だが、顔合わせも含め、皆様の近況報告、協働以外の事も含め伺いたい。

委員からの近況報告

- ・野菜を出荷しているお店が休止となったり、毎年行っている「ひまわり畑」の事業が中止となったりしているが、草刈りをするなどして手入れを行っている。

- ・3月末に実施予定だった瑞穂・横田交流バスケが中止になるなど、7月ころまでスポーツ活動が実施できない状況だった。

徐々に再開してきているが、身体接触を避ける形であったり、大会の中止など、影響が続いている状況。

自宅で出来るトレーニング動画の配信なども行った。子ども達も不安な日々を過ごしている。安全に気を付けて少しずつ活動を始めている。

- ・高根市を一時休止し、また再開したが、心配してなのか、出てきてくれる人が少ない。フラワーロードも少人数となってしまう、一部地主の協力が得られないこともあり停滞してしまっている。

- ・協働として、フラワーロードの件は、委員会でサポートできればいいと思う。

- ・フラワーロードを通ることがあるが、綺麗に花が植えてある場所もあり、以前から取り組んでいたのを聞いていたので、ここまで出来てすごいなと思って通っていた。

自分の近況としては、新型コロナウイルス感染拡大防止で、施設では相当気を使っている状況。

- ・自分達の団体は、ZOOM（ズーム）アプリを使いオンラインで行っている。

口の動き方や、表情等を感じ取りコミュニケーションを図る必要があるので、マスクを付けて行う状況では、難しい。

- ・平地林整備は、野外活動ではあるが、このような時世で、子ども達をあまり呼ぶことができずさみしく思う。次の再開に向けて月1、2回下草刈りを進めている。

7月に委員長、地域課の方と地権者の方へ挨拶に行き、継続して活動が出来るようになって良かった。

昨年の秋に平地林で集めた落ち葉を堆肥としてモール近くのブルーベリー農園にまかせていただいた。除草の役にもなっているとのことだった。

今後も、このようなつながりを増やしていけたらいいと思う。

この他にも委員の畑にも落ち葉をまかせていただき、温床の方法で苗床を作ることができてよかった。

- ・今の件は、まさに協働事業から生まれた、つながりと連携、協働事業の実績の現れだと思う。

- ・緊急事態宣言後はボランティアセンターのサロンが中止となってしまった。解除後は再開するための会議を開くなどした。高齢の方が家から出られない状況が続いている。飲食を伴わない体操などのサロンは復活してきている。今の時代に合わせた新しい形で実施できるようにしたい。

- ・PTAの会長をさせていただいているが、学校も行事がほとんど中止となっている。子ども達は、一生に一度の思い出も作ることができない状況。大人達で何か出来ることがあればと教育委員会に投げかけたりしている。

自分自信の日々の生活が安定できてこそ、協働の取り組みができると思う。使命感だけではとてもできない。必要としてやらなければならないのであれば、それは仕事となる。皆さんが今まで取り組んできた活動が、今は止まってしまっていたとしても、このコロナの状況のもとでは仕方がないのではないかと思いますので、気にしないようにしましょう。この状況の中でも協働に対しての意識付けをうまく結びつけられればいいのではないかと思います。この状況が落ち着いて来ればお互いが助け合い、お互いが補い合うといった、よりよい協働の形ができていくのではないかと個人的には感じている。

9 議題 2 その他

(委員長)

住民同士の連携はある程度は出来ると思うが、町との連携となると、町としてもこの状況のもとでは出来ない部分もあり、町の方向性が出ないと町との協働が今の状況では難しいのではないかと。

協働フォーラムの開催等について、今の状況では話し合うことができない。

今は、それまでの準備期間として準備をする時間ではないかと個人的には考える。

今、協働について住民に話をしてもあまり伝わらず流されて終わってしまうのではないかと。

委員それぞれが、今の状況で出来ることを行動しつつ、後日また近況報告し合えるよう顔を合わせたい。

(事務局)

中止となってしまった2020フォーラムで、発表しようとしていた取り組みの資料を町のホームページに時機をみて掲載したい。資料提供の準備をお願いしたい。

(委員長)

委員の皆様には実施できる範囲で取り組み、活動していただけたらと思う。

そして、例年フォーラムを開催している3月頃、また発表、発信ができるような活動ができていればいいと思う。

10 閉会 (副委員長)

久しぶりに委員全員で集まることができ、意見交換ができてとても嬉しい。

次回もまた皆様と集まればいいと思う。

次回委員会は令和2年10月26日(月)、18時30分から、庁舎2階会議室で開催予定。